

富士箱根伊豆国立公園の将来に向けて

～指定 80 周年記念宣言として～

前文

我が国の最高峰であり、いにしえより信仰の対象や芸術の源泉としてあがめられてきた富士山、日本の東西を結ぶ交通の要衝であり、多様な泉質の温泉と美しい自然で多くの旅人を魅了してきた箱根、ユニークな形成過程を持ち、太平洋型のブナ林を有する山々や美しい海岸線が人々を楽しませてきた伊豆半島、黒潮の流れを横断するように火山島群が点在し、島ごとに独自の自然と文化をはぐくんできた伊豆諸島、この4つの地域から成る富士箱根伊豆国立公園は、太平洋から霊峰富士に連なる火山群として地質学的な一体性を有し、それら地形と文化が創り出す多様な景観とともに、多くの場所が富士山の展望地として、人々に親しまれてきました。

富士山地域と箱根地域が昭和11年に国立公園に指定され、その後、昭和30年に伊豆半島地域が、昭和39年には伊豆諸島地域が編入されるなか、国立公園において、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進が図られてきました。

外国人や、障がいを持つ人などを含むすべての人々に優しい利用の形が求められている現在において、国内外からの利用者数が日本一多く我が国を代表する国立公園として、私たちが守り伝えてきた日本の自然の素晴らしさを国内外に発信していく役割は、ますます大きくなっています。

本文

富士箱根伊豆国立公園指定 80 周年にあたり、私たちは、国立公園の自然を守り、次の世代に引き継いでいくため、そして、すべての利用者にその魅力をより感じてもらうため協力していくことを誓い、次のとおり宣言します。

1. 富士箱根伊豆国立公園が誇る自然、景観、文化が、その保護と適正な利用に向けた先人の努力によって今があることを意識し、多様な利用者が、自分に合わせた心地よい体験を持ち帰ってもらえるよう、適切な情報の発信、施設やエコツアープログラムなどの充実を通じ、利用環境の向上を図り、魅力ある自然、景観、文化を未来へ継承します。
2. 活火山を複数抱える国立公園として、火山という自然の脅威に謙虚に向き合い、火山防災協議会等と連携して、火山防災に関する安全対策によって利用者が安心して訪れることができる利用環境を整えるとともに、自然の恵みと畏敬の念を感じることができる資源であることを認識し、ジオパーク推進協議会をはじめとする関係機関との連携を通じ、火山地形が織り成す大地の魅力を多くの人々に伝えます。
3. 自然景観と文化的な多様性を有する富士山・箱根・伊豆半島・伊豆諸島の4つの地域が、各地域のつながりとそれぞれの個性を再確認し、連携してその魅力を国内外に伝えていきます。
4. 富士箱根伊豆国立公園を地域の宝として再認識し、行政のみならず、観光事業者、交通事業者、山小屋関係者、自然を案内するガイド、さらには、農林水産業を営む人や、地域に暮らす人も含めて、地域の多様な関係者が協働して、希望と誇りを持った魅力ある地域づくりに向けて、国立公園を協働して管理運営していく体制の構築を進めます。

平成28年3月6日

富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業実行委員会